

入札金額 45,000,000 円の場合

正しい『工事費内訳書』の記載例

入札金額と工事内訳書の工事価格が一致している。

各項目での掛け算が正しく、各項目金額の足し算も正しい。

設計図書である「工事数量総括表」の項目、単位、数量を全て一致させて作成している。

費目・工種明細など	単位	数量	単価	金額
本工事費				
道路改良	式			
道路土工	式			
堀削工	式			
堀削（土砂利）	m ³	10,800	1,400	15,120,000
法面整形工	式			
法面整形（切土部）	m ²	2,820	600	1,692,000
石・ブロック積（張）工	式			
作業土工	式	1		1,200,000
コンクリートブロック工	式			
コンクリートブロック基礎	m	178	5,537	985,586
コンクリートブロック積	m ²	574	18,800	10,791,200
天端コンクリート	m	178	2,300	409,400
直接工事費				30,198,186
共通仮設費（率分）				2,801,814
共通仮設費計				2,801,814
純工事費				33,000,000
現場管理費				8,085,000
工事原価				41,085,000
一般管理費等				3,915,000
工事価格				45,000,000

工事価格を 45,000,000 円とする際に
 値引き等による調整をしていない。
 （ただし、万円の単位に満たない金額
 については、万円単位にすることができます）

入札書の金額と
 一致している。

様式については拘束するものではありません。